

ナイロビで働く

在ケニア日本国大使館共催

2024年11月20日(水)
19:15~21:00(日本時間)

ナイロビに本部を置く国連環境計画(UNEP)と国連人間居住計画(UN-Habitat)で働く元・現 JPO(※)の日本人職員お二人をゲストスピーカーとしてお招きし、在ケニア日本国大使館との共催で開催します。大使館員によるナイロビやケニアの治安や生活環境などについての説明もあります。

*ジュニア・プロフェッショナル・オフィサー

※本セミナーへの出欠は国際機関応募の際の選考に一切影響しません。

ゲストスピーカー



吉田 鶴子 さん
UNEP

政策プログラム部 戦略計画ユニット長

英スターリング大学院 環境政策学部卒。青年海外協力隊生態学隊員としてケニアのモンバサで活動。世界自然保護基金本部勤務を経て、JPOとして2001年にUNEP ラテンアメリカ地域事務所に派遣される。これまで150以上の環境保護支援プログラムを企画・運営。2009年にアジア・太平洋地域事務所へ移動して公害汚染政策に携わり、国連リーダーシップ・コミュニケーション研究会を在タイ日本国大使館の支援を受けて創設。2022年より本部勤務で、今年10月より現職。



伊藤 里奈 さん
UN-Habitat

都市危機対応部門
アソシエイト事業管理オフィサー

東京外国語大学卒業後、金融機関勤務を経てロンドン大学大学院で都市開発・計画修士号を取得。外務省の平和構築・開発におけるグローバル人材育成事業「プライマリーコース」を通じて、国連プロジェクト・サービス機関(UNOPS) シエラレオネ国事務所で首都の防災計画策定や強靱なインフラ整備に従事。2022年にJPOとしてUN-Habitatに派遣され、現在は都市部の人道・開発プログラムの実施支援を担当。

参加登録 (事前質問も受け付けています) :

<https://contact.mofa-irc.go.jp/form/pub/mofairc/20241120>



外務省 国際機関人事センター

お問い合わせ : 03-5501-8238 mofa-irc-pr@mofa.go.jp